



近藤すみお 市政と皆様をとつなく 活動報告

刈谷市レポート

Vol.2

2020.01



新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、旧年中は、多大なるご尽力をいただき、本年も、更なる行政の向上に努めて参りますので、より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



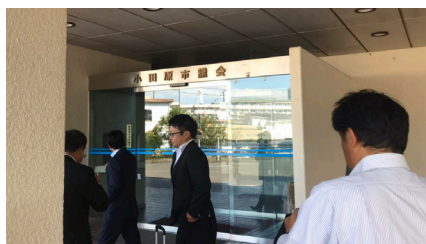
市議員となり初年度も、2019 年度後半においては、建築委員をはじめ多くの視察や会議へ参加させていただき、地域の枠を超えた多くの市政の取組を勉強させていただきました。

<< 視察や会議への参加 >>

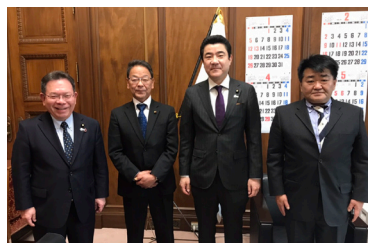
建築委員会視察では、歴史的資源を通じた賑わいと交流のコンパクトシティの形成をテーマとした地域資源を活かした官民連携による取組みを行っている小田原市、事前に予約して乗車する乗合方式によるデマンド型交通の運行と東上線川崎駅ホームドアを設置した川越市、そして、グッド・プラクティス賞を受賞したインフラマネジメント「道路等包括管理事業」を行っている府中市を訪れました。また、鹿児島で開催された第 81 回全国都市問題会議「防災とコミュニティ」では、気象災害などを含め日本全国で起きている様々な災害について、火山防災も含め、全国で行われている災害事前対策から復興対策の取組まで報告を聞き、勉強してまいりました。

<< 12 月議会において >>

境川や逢妻川などが雨水排水の根幹を担っており河川の保全等に関し質疑応答を行い、水源浄水場の災害対策についても水道水の供給に必要な電気機器類を保護するため、建物の出入口や機器の基礎部分の嵩上げを行う対策がなされています。地震に対しても施設は、古いものだと 5 7 年運用しているが、経年劣化も進行しておらず健全性は保たれている。しかし、大規模地震で被災した場合、北部地域へは、給水車による避難所等における応急給水と隣接する一ツ木配水場で受水している愛知県営の水道水を確保できる地域において各戸まで給水することとなる。愛知県浄水場の耐震補強などは令和 12 年度の完了目標であり、刈谷市として基幹管路は令和 3 年度で完了し、引き続いて水源浄水場や配水場、新たな水道管路の耐震化に取り組んでいきたいという状況であり、近々の課題でもあると感じました。



2020年の新年を迎え、5日には恒例の新春ウォーキングが行われ、また、9日には、本年度も警察署から感謝状を受けました。東京を訪れた際には、参議院会館や国会議事堂を見学させていただいたり、少しずつではありますが、政治の勉強もさせていただきました。



昨年度後半より、井ヶ谷地区におきましても、グウンドやカキツバタ、旧茶屋川の除草・草刈り、洲原神社の例大祭が行われ、また町内会、幼稚園など運動会など様々な事業が行われていました。もちろん同時に、地域を守るための防災訓練や防災パトロールの取組も市民の皆様との協力のもと数多く行われました。

新年を迎えて、洲原神社では恒例の新年祭、地域恒例の新春ウォーキングが開催され、昨年同様に暖かい年を迎えております。9日には、刈谷警察署より感謝状をいただきましたし、28日には、市議会議員による合同研修会も予定されており心新たに望みます。



<< 昨年度もありがとうございました >>

昨年度も多くの方々と様々な催しなど、ご支援ご指導いただき、誠にありがとうございました。本年ども変わらず、ご支援ご協力頂きますよう、よろしくお願い致します。昨年度の活動写真をご確認ください。